２０２６年
３３９号
８月１９日（水）

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
〒343-0845
埼玉県越谷市南越谷2-13-49
（越労連内）
TEL・FAX 048-989-2472
E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp

新支部長挨拶
新執行部体制で１年間頑張ります！
組合員の皆さん力をお貸しください

酷暑の中、「令和8年熊本地震」が発生し、大災害となっていますが、今こそ政府は予備費を使い、迅速な対応・体制を整える時です。（予備費とは災害等の予測不可能な事態に対応するための予算で、好き勝手に政府が使える予算ではりません。）

広域避難等の体制は、本来国が指導して整える問題ですが、現在は地方自治体が個別に行っています。震災復興体制のほとんどの業務が市町村に集中し、被災者でありながら住民対応の業務を行わざるを得ない状況で、他の自治体、ボランティアの力を借りても追い付くものではありません。現在はＡＩの時代であり、情報集約は簡単であり、政府においては的確な体制・対応を求めたいと思います。

未だに狂乱物価は止まりません。国民に対し衣食住を確保するのが時の政府の責務です。都心のマンション価格が1億数千万円と一般国民が住める住居ではありません。今年の選挙ではほとんどの政党が消費税減税を公約し、通常国会で実現すると思いましたが、高市内閣はわけのわからない国民会議に丸投げし、未だに実現していません。本来国会に予算案を提出し、国会の議論を経て修正すれば、今頃は予算成立していたはずです。

国民が今すぐ実施してほしい物価高騰対策を後回しにし、皇室典範改正・副都心関連法・国旗損壊法等を優先されたのではたまったものではありません。

今年の実質賃金は減少し、私たちの年金は4月から国民年金は１・９％（厚生年金２％）の引き上げでは、年金生活者にとっては益々生活は苦しくなる一方です。

私たち年金者組合は、最低補償年金制度の制定・マクロ経済スライド廃止・毎月年金支給等の実現に向け、組合員の皆さんとともに活動していきます。「楽しみ7分・活動3分」をもっとうに、一人ぼっちの老人をつくらない為、仲間増やしの活動を行っております。

毎年４回行っている誕生会・クラブ活動等を通じて、楽しく親睦を深め孤独になりがちな老人を一人でも多く仲間に迎え入れる為、皆さんの周りの方にお声掛けをお願いいたします。

新しい執行部一丸となって頑張りますのでよろしくお願いいたします。

全日本年金者組合
越谷支部長　和田幸雄

越谷支部第34回定期総会
福田越谷市長よりメッセージ



７月26日（日）９時より北越谷駅前の「ほっと越谷」セミナールームで、越谷支部の第34回定期総会が開かれました。

議長には12班の古川正治さんが選出されました。

総会は組合員数１９０名中、出席者34、委任状87、合計１２１で過半数を超え総会は成立しました。

和田支部長の挨拶の後、来賓として宇佐美県本部副委員長、河田越労連議長、越谷市民ネットの清水市議会議員、立憲民主党の土屋市議会議員、日本共産党越谷市議会議員団の山田市議会議員から挨拶をいただきました。

又、福田越谷市長（次頁へ続く）

点晴
平和日本を
孫たちに残す責任を

戦争が少しでも記憶にある私は8月には胸が何となくざわざわするのを覚える。

広島、長崎の原子爆弾で人類史上まれにみる悲惨さは皆さんもご承知でしょう。

未だに日本は核兵器禁止条約の会議にも出席すらせず、被ばく団体などの激しい非難を浴びています。

そして終戦、私はあえて敗戦といいます。空からの爆撃はなくなったものの、その後の食べものに事欠き、生活物資は勿論、大変な生活を強いられることになりました。

衣類や靴、傘、鞄など配給切符がないと買えない時代が続きました。コメは配給通帳で管理されていました。私など信州から6年生の修学旅行に江の島の宿にお米を持ってきたのですから。配給で得た砂糖も父が知り合いの和菓子屋さんに持参し、お金か米に取り換えていたのだと思います。

そんなことを身にしみている私には今が一番戦争の足音が聞こえてきます。

戦争は二度としないと誓った憲法は私たちに大きな希望を与えてくれたのですが、喉元忘れた為政者たちは憲法の縛りを忘れて、なりふり構わず少しずつ、または大胆にも、スパイ防止とも取れる法案や、国旗損壊処罰や平和教育にまで口をはさみ、自衛隊員が少なくなれば公務員にも?と。一番頭に来たのは武器輸出三原則をあたかも簡単に捨て、武器をつくり他国へ売り国を豊かにするそうな?

先日沖縄慰霊の日に「基地、軍隊がいるところに戦争はやってくる、古今東西代わりはない」「抑止力とは戦争を呼び寄せる」と古老が語っていました。その通りです。

声を出して戦争は嫌だと叫びましょう。

いい戦争なんてないのです。戦争は始めたらなかなかやめられないのは、ウクライナ、イランの戦争を見てもあきらかです。

平和日本を孫たちに残す責任が今を生きる私たちにはあります。

（宮下文子）

（無料）なんでも相談会
２０２６年９月６日（日）10:00～12:00
＜主催＞越谷吉川松伏労働組合連合会
＜会場＞中央市民会館５F第２・３会議室